



パルシステムの『エコ・山形つや姫』は
こんなところで作られている!

おきたま 山形県南部「置賜地区」の 生産者が中心に栽培

『エコ・山形つや姫』は約6割を「JA山形おきたまパルシステム米生産部会」が生産しています。



今年もおいしく
できたよ〜♪

「ふるさと自慢」も
しましょうか?



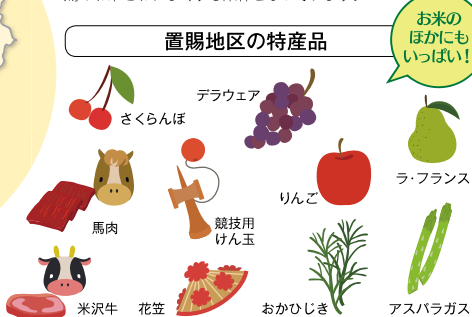
JA山形おきたま パルシステム米生産部会
副部長 高橋一さん(左) 長老 齋藤重太郎さん(右)



米作りに何より大切な水が豊富!

置賜地区は日本でも有数の豪雪地帯。長井市には、市の中心部に朝日山系を源とする「置賜野川」が流れ、そこから張りめぐらされた水路によって雪解け水が田んぼに運ばれています。また、四方を山に囲まれた典型的な盆地気候による昼夜の寒暖差も、置賜のお米をおいしくする条件となっています。

置賜地区の特産品



年2回、組合員との 交流を続けています!

20年以上前から、夏の草取り&さくらんぼ収穫、秋の稲刈り&いも煮会など、組合員との交流を続けています。



【パルシステムの生きもの博士も絶賛!】



バランスのとれた生態系を維持!

害虫がいてもそれを上回る天敵がいれば、生態系は健全に維持されます。今年の置賜は、イナゴが多かったようですが、カエルが食べてくれたおかげで被害は抑えられています。除草剤などは最小限に抑え、よく手入れした田んぼならではのバランスのよい生態系が保たれていると思います!

(株)YUIDEA パルシステム編集室 原 覚俊さん
「パルシステムの生きもの博士」の異名をもつ理系男子。
全国各地の産直産地で生きもの調査を行っている。

人気沸騰中!

『エコ・山形つや姫』のヒ・ミ・ツ

pal*system

2010年のデビュー以来、日本穀物検定協会の食味検査で
8年連続「特A」を受賞し、人気急上昇中の「山形つや姫」。
山形産ならではの「おいしさ」へのこだわりと、
「パルシステムだから安心」に迫ります!!

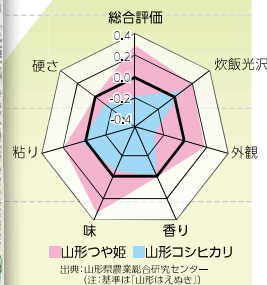
11月3回は
新米がお得!!

おいしい!

《パルシステム米生産部会「エコ・山形つや姫」出荷実績》
単位:万kg



「山形つや姫」の食味官能試験 結果の平均値



【取り扱い規格】
■予約登録米 無洗米5kg/3kg 普通精米5kg/3kg
■カタログ誌面 無洗米5kg
11月3回は特価2,354円(税込)

しかも
安い!

パルシステムなら「安い!」

パルシステムの「エコ・山形つや姫」は、5kgで250~550円も安いという市場調査(17年産・18年8月現在)が!また、定期的にお届けする予約登録米なら無洗米5kgで50~100円、誌面価格よりさらにお得。「山形つや姫」はパルシステムへの予約登録が絶対お得です!

どうして「安全」?

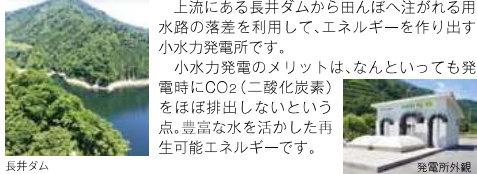
『エコ・山形つや姫』は、農薬や化学肥料の使用回数を慣行栽培の半分以上に抑えるパルシステムの独自基準「エコ・チャレンジ」に合格。栽培状況を組合員の監査人が直接確認する「公開確認会」でも、産地の安全へのこだわりに驚嘆の声が上がるほど。

なぜ「おいしい」?

「山形つや姫」は、おいしいお米の条件「大粒」「甘み・うまみ」「炊きあがりのつや」を兼ね備えたお米です。山形県では、おいしさを保つため、食味や粒の大きさに県独自の基準を設け、その基準に合格したものにだけその名を許可しています。

2日目 「エコ・山形つや姫」が実際に栽培されている田んぼへ！
生産者の作業場や農協の保管倉庫のほか、パルシステムでんきの発電産地も見学しました。

**3 電気もお米も同じ水から！
パルシステムに電気を供給する
小水力発電所も見学！**



長井ダム

上流にある長井ダムから田んぼへ注がれる水路の落差を利用して、エネルギーを作り出す小水力発電所です。

小水力発電のメリットは、なんといっても発電時にCO₂(二酸化炭素)をほぼ排出しないという点。豊富な水を活かした再生可能エネルギーです。



この前の中にあるプロペラの形で発電



こんなに小さな施設で一般家庭約370世帯分の年間電力量が作れるんですね！すごい！

監査人 兵頭英理子さん
2017年からパルシステムの食材を使った料理講習会で講師活動中！組合員歴約15年。

このお米を選ぶことは、まさに今、注目のエシカル(倫理的)消費にもつながるのでは？



4 締めくくりは「監査人所見」発表

最後は、監査人が一人ずつ冷静に、客観的に「監査結果」を報告。

「つやがある」「粒がそろっている」「うまみがある」「さめてもおいしい」といわれるブランド米には、きびしい品質基準と徹底した管理。そして、生産者の熱い思いがいっぱい詰まっていました！



2018年「パルシステム東京「エコ・山形つや姫」公開確認会 監査人のみなさん

詳しくは週刊「WITH YOU」で

**2019年
1月16日(水)
開催予定！**

昨年、初めて監査人になり、公開確認会報告会で発表もさせていただきました。監査人は帳票類や圃場の確認、監査人所見発表など、代表としての役割が多く、緊張感もありますが、より詳しい情報に触れることができます。報告会ではその道体験ができます。みなさんも「エコ・山形つや姫」の貴重な報告をいっしょに聞きに行きませんか？

2017年度 監査人 戸谷 彩さん
高内寺委員会、みる・みる商品委員会所属。2017年10月から総代も務める。組合員歴約10年。



公開確認会を体験しよう！
公開確認会に参加できなかった組合員のために、毎年開催されている公開確認会報告会。報告者は貴重な体験をいかに伝えるか工夫を凝らして臨場感あふれる報告を行います。

1 圃場(田んぼ)と作業場を確認

パルシステム米生産部会会長、飯澤さんの田んぼを見学。田んぼには、県の認可を受けた「山形つや姫」の田んぼであることを証明する標識や生育状況を記録した看板も！



カメシヤイナゴはいないか、葉っぱの色を見ながら肥料はちょうどいいか...収穫までは日々、生長を確かめながら、草取りにはげ毎日です

昨日今日の掃除じゃ、こんなにきれいな田んぼにはできないわね



JA山形おきたまパルシステム米生産部会 部会長 飯澤一雄さん

編集者H 組合員歴約15年

**2 味を保証する
出荷までの舞台裏をチェック！**



「つや姫」は、宮城県や佐賀県などでも栽培されていますが、市場での一番人気は何といっても山形産のもの。その理由は、やはり「味わいのよさ」です。

山形県ではその味わいのよさを守るために、生産地域と生産者を限定。さらに独自の品質基準を設定し、粒の大きさや農産物検査法による検査はもちろんのこと、お米の味を大きく左右する「タンパク含有量」の検査まで実施。

品質検査は収穫後、生産者が袋詰めして保管倉庫に運び込んだ段階で行われ、合格したものにだけにハンコが押され、「山形つや姫」のブランドシールを貼ることが許されます。

あ、大河原さんのハンコもある！



湿度や温度を調整した保管倉庫。7月現在ではガンとした印象ですが、収穫後は次々と湿度が上がるお米でいっぱい！

収穫したお米を玄米にし、袋詰めするまでが生産者の仕事。「人の口に入るものだから」と、きれいに整理された作業場に安心感が増しました。鍵付きの農業保管庫など、安全面にもしっかりと気配りがされていて、すばらしいです。また、保管倉庫もこんなにたくさんのお米、混じっちゃわないの？と心配でしたが、袋ごとに「合格」のハンコやシール、ロットごとにパルシステム米とわかるよう、細かな工夫が施されていました。

監査人 泉 真弓さん

身体にいい、安全なものをおいしくいただくための情報を収集中。組合員歴20年。



公開確認会密着レポート

『エコ・山形つや姫』はほんとにすごかった！

7月19～20日に開催された、「エコ・山形つや姫」の公開確認会に編集部メンバーが密着。監査人として参加した組合員とともに人気のヒミツを探ってきました！



2 産地の熱い想いを聞きました！

監査人9名のほか、全国各地から生協関係者、生産者ら128名が参加。産地の紹介から、「エコ・山形つや姫」の栽培基準や検査方法などの専門知識にいたるまで、大河原さんのユーモアをちりばめた報告に、参加者は聞き入りました。



パルシステムの組合員に、日本一おいしいお米を食べてもらおうと、日々努力を惜しまず、米作りに取り組んでいます！



JA山形おきたまあやめ支店 経済支店長 大河原文幸さん

【食の安心をサポートする認証機関も注目！】

「責任と信頼」でつながる 二者認証制度

農産物の認証には、下記の3つの方法があります。

- 一者認証(自称)など
 - 二者認証(利害関係がある者による確認。組合員(消費者)による生産者の監査。「公開確認会」はこれにあたる)
 - 三者認証(利害関係のない認証機関が監査。「有機JAS認証」など)
- 一般的に三者認証は公平で公正、客観的と考えられますが、消費者の思いが直接届きにくいという欠点があります。パルシステムの公開確認会＝二者認証制度は、責任や意思を誰かにゆだねるのではなく、当事者同士の信頼をもとに、食の安全性を高めていくというもの。消費者運動としてはもちろん、農産物認証の視点からも大きな意義があるといえるでしょう。

(有)リーファース 水野葉子さん

監査人講習会講師。食に関わる認証機関の代表。生産者と消費者双方の立場から食の安全をリポート。



公開確認会って何？

組合員の代表者(監査人)や他産地の生産者、農業専門家などが産地に赴き、栽培記録や生産基準などから生産者の取り組みを確認・検証を行う会です。生産者と組合員がより深く理解しあい、課題を共有し、改善していくための発展的な交流システムとして注目され、昨今では多くの生協や企業でも行われるようになっています。



**1日目 「帳票類」の確認と、
生産者による報告が行われました。**

1 綿密な栽培の記録を確認！

肥料や農薬をいつどのくらい使用したのか、日々の仕事を細かく書き留めた「帳票類」(栽培記録)を確認。監査人からは、農薬の種類や使用量などへの突っ込んだ質問が飛び交いました。



生産者「「エコ・山形つや姫」は、パルシステム米生産部会の会員25名と、42名の協力生産者で栽培しています」
組合員「なぜ、みんなパルシステムの生産者部会に入らないんですか？ 入ってほしいです」などのやり取りも！

農家ってお米を作るだけじゃないのね。それしても、この書類の山にひるまない東京の組合員もすごい！



編集者K 組合員歴約30年

ちょっとイタ 農薬散布方法は組合員の声を変えた！

以前は有人ヘリコプターで農薬散布を行っていたのですが、平成14年の公開確認会で、組合員から農薬削減・環境保護の視点で見直しの要望があり、翌年から空中散布は中止に。組合員の願いがちゃんと聞き入れられていて感動しました。実現が難しいことはいっぱいあるでしょうけれど、これが「二者認証」の醍醐味。これからもこうした「いい関係」が続くようがんばる...のは、ほかならぬ私たち組合員なんですよね！



監査人 飯山容子さん
商品会議、商品開発チームのメンバーとして活躍中。お米のなかでも「山形つや姫」が大好き！ 組合員歴約7年。

思っていたよりおもしろい！

初級では、「パルシステムの理念」や「帳票類の見方」「監査人の心得」などを座学。中級では、産地から生産者が参加。公開確認会のリハーサルといった形で、生産者のプレゼンテーション、質疑応答、代表者による所見発表まで行いました。
私は専業主婦歴が長いこともあり、長時間の講習についていけないか心配でしたが、「そんなんだ！」「へー！」の連続で、2日間であっという間。公開確認会に泊りがけで行くのは無理...と思われている方も、講習会だけでも参加されるのいいなと思いました。

監査人 熊澤貴子さん
週刊「WITH YOU」で監査人募集記事を「監査って何？」と興味をわきま。組合員歴15年。



「監査人」になるには？
監査人は「帳票類」などから生産状況を読み取り、監査を行います。専門的な知識も必要なので、監査人になるには、「監査人講習会」(初級・中級)に参加する必要があります。